

## 第2回学校評議員会実施報告書

---

### 岐阜県立関特別支援学校

校長 岩塚 政司

学校住所 関市桐ヶ丘一丁目2番地

電話 (0575) 22-4238

---

1 会議の名称 岐阜県立関特別支援学校 学校評議員会

2 会議の構成 【 学校評議員 】

(50音順) 小野木 秀夫 関市民生委員  
澤井 基光 関市社会福祉協議会会長  
白幡 久美子 中部学院大学短期大学部教授  
中上 達美 社会福祉法人美谷会エリアちゅうのうみに管理長  
林 映二 卒業生・Man to Man Animo 株式会社 Web 事業部マネージャー

【学校関係者評価委員】

長澤 美緒 P T A会長

【 学校職員 】

岩塚 政司	校長	熊崎 律弥	小学部主事
福富 茂美	教頭	杉本 雅晴	中学部主事
下川 正利	事務部長	乙津真由美	高等部主事
井原 誠	教務主任		

3 会議の目的 学校運営について地域住民や学識経験者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた活力ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成28年1月29日(金) 10:00~12:30

岐阜県立関特別支援学校 小会議室

会の内容(主な議題等)

- (1) 校長挨拶
- (2) 平成27年度1年間の活動報告等について
- (3) 平成27年度の総括と反省(学校評価)について
- (4) その他
- (5) 学校給食試食(ランチルームにて)

5 会議の概要

校長あいさつ

50周年記念式典にご参加いただきありがとうございました。50周年記念事業として幅広い活動を行ってまいりましたが、最後の事業として桜並木再生プロジェクトを行い、桜の苗を植えています。今後10年、20年と、桜並木と共に学校も成長していきたいと考えております。

本日の第2回学校評議員会は学校関係者評価委員会を兼ねており、長澤P T A会長にも参加していただいております。実践を振り返りながら、アンケート結果を基に校内評価の報告をいたします。忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。

## テーマ1 平成27年度の1年間の活動報告について

※校長、小学部主事、中学部主事、高等部主事よりパワーポイントで1年間の活動報告

(質疑応答)

質問1 中濃特別支援学校分教室を設けるにあたり、どうして寄宿舎の窓にフィルムを貼る必要があるのか。

学 校 1階は寄宿舎の女子棟で洗濯物が干してある。また女子の生活も丸見えになってしまうため、フィルムを貼って分教室のある5棟から見えないようにした。

質問2 児童生徒数が減少すれば、教員も減ると思うが、教科ごとの教員をどのように確保していくのか。

学 校 昨年度は教科の教員を確保するために、部を越えて教科を教える教員もいた。本年度は、部内で教科の教員を確保している。来年度は、さらに教員数が減少することが予想されている。教科の教員を確保するために、人事面の配慮をお願いしている。

質問3 各教科の免許のある教員をどのようにそろえているのか。非常勤講師を雇うことはないのか。

学 校 どうしても免許を所持する教員がない場合は、その教科の指導能力があると判断した教員を対象として免許外申請を行い、県教育委員会が認めたとえで、指導してもらっている。また、非常勤講師で対応することはなく、該当する教科の免許を持っている常勤講師を探し対応する場合もある。

質問4 AB類型の児童生徒が減少したのは、学校の選択肢が増えたからか。

学 校 インクルーシブ教育の流れの中で、地元の学校へ通う児童生徒が増えてきている。障害者差別解消法ができて、環境整備も進んできている。

質問5 AB類型の児童生徒が各地域の一般の小学校、中学校に入学するケースが多くなるのか。

学 校 小学校・中学校だけでなく、高等学校でもそのようなケースが多くなってくることが予想される。その結果、特別支援学校では重複障がい学級に在籍する児童生徒の割合が益々増えてくることが予想される。

質問6 中学部でD類型の生徒が、高等部でC類型になるというケースはあるのか。

学 校 そのようなケースはほとんどない。逆に部が上がっていくにつれて、障がいの状態が変化することなどにより、C類型からD類型になるというケースはある。

質問7 平成30年度を目標に専門学科ができるという話だが、どのような専門学科ができるのか。

学 校 現在、専門学科設置に向けて職業プログラムの作成を行っている。当校では食品加工を担当しており、県の事業費でオープン等を購入したり、職員研修を行ったりしている。地域の食材を活用した食品開発も行っている。

質問8 専門学科の目的を考えると、どうして食品加工なのか。働く力を養おうというなら岐阜県にある地場産業を行った方がよいのではないか。

学 校 現在の計画では、当校に設定される専門学科は、工業、食品、福祉、ビルクリーニングとなっている。

質問9 岐阜市に高等特別支援学校が設置されると思うが、関特別支援学校との役割分担はどのようになっているのか。

学 校 平成29年度に岐阜市の大洞に高等特別支援学校が設置されることになるが、近隣であるた

め実際に当校にどのような影響があるか分からない部分はある。しかし、各地域に高等特別支援学校を設置していこうという構想があり、この地域では関特別支援学校と中濃特別支援学校の2校で総合化していくことになっているため、2校で協力して少しずつ準備を進めている。

意見1 本校は障がい重度な児童生徒が多い。専門学科が設置されることで、重度の子が置き去りにされるのではという心配もある。県の意向は分かるが、今まで在籍している重度の子が置き去りになるようなことだけはやめてもらいたい。そういったことを踏まえた上で、専門学科の準備を進めていただきたい。

学 校 当校は肢体不自由教育の伝統校である。これからも障がい重度の児童生徒を大切にしていきたい。

※「関特だより」4号から9号を用いて、6月以降の行事等について教頭より説明

意見2 緊急時における生徒の引き渡し経路について、この通りに行くと大渋滞することが予想される。地域としては、この辺りが全面的に止まってしまうのは困る。保護者が迎えにくる時間を学校ごとに分けるようにしてほしい。

学 校 3校（関特別支援学校・中濃特別支援学校・関商工高等学校）で検討した結果、経路はこれ以外に考えられないが、迎えの時間については3校の時間帯を変えていくようにする。また、これを叩き台として地域で防災会議を行い、地域の方と一緒に検討していきたい。

## テーマ2 平成27年度の総括と反省（学校評価）について

※「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」「平成27年度自己評価・学校関係者評価」の説明後、評議員からご意見を伺う。

- 保護者が学校の取組を真摯に受け止めている。いろいろな学校と交流を行ったり、児童生徒が外に出る経験をつくっている実践は評価に表れている通りとてもよいと思う。  
 今後は、どこに焦点を当てて支援をするか一人一人について考えてほしい。自立できる子はできるだけ自立させてほしいと思う。学校で支援があるうちはよいが、将来のことを考えると少しでも自分でできることが大切になる。  
 食品加工については、衛生的にどうかという疑問がある。先を見据えた支援と内容を考える必要がある。
- 専門学科に興味がある。これからどういう教育をしていくべきかを考え、社会にまかせるのではなく、学校で力を伸ばしてほしい。  
 総合評価は難しいものだと感じた。
- アンケートの中で「わからない」が気になる。迎えの半分以上が日中一時支援を行う事業所の移送サービスを利用しているということで、教員、事業所、保護者の3者の連携が大切になる。事業所との連携についての項目をアンケートに入れるとよいのではないか。子どもを中心に据えて、3者がどう連携していくのか考えていただきたい。  
 進路については先生方がよく努力されていることが伺える。生徒が自分の行きたい進路先へ行けるようになるとよい。
- アンケート項目30（「学校は、パソコンや情報通信等の情報手段能力の向上に努めている」）については職員の底上げが必要であると思う。教職員に自信をもってもらうことが大切である。自信を植え付けるのは校長や教頭の仕事である。若い人はITへの順応が速い。時代の流れにのって、使いこなしていけるようになるとよい。

学校：今後 i P a d が 3 1 台入る予定である。環境も整備していくので、これからさらに重点的に取り組んでいきたい。

- 進路については、小学部、中学部ではその気にならず、高等部になって切羽つまってその気になるのではないかと。

学校：今年度から小学部、中学部においてもキャリア教育に重点的に取り組んでいる。

- 進路指導については、中濃特別支援学校のノウハウの活用を考えてはどうか。木工等を行っているので具体的なノウハウを取り入れてはどうか。

学校：当校の生徒には木工等は難しい。しかし、中濃特別支援学校との連携は考えていきたい。

- アンケートを見ても広報活動がしっかりしてきていると思う。社会に出ていくために働くことは手段であって目的ではない。専門学科の話もあったが、職業能力だけ向上すれば働けるというわけではない。「こんなことを楽しみたい」「あれをやってみたい」という思いを育てる環境をつくってもらえればと思う。職業能力の獲得は我々会社側がするべきであって、学校はもっと別のものを育んでもらいたい。

緊急時のことは、児童生徒は自分で動けない子が多いので、先生方に頑張ってもらいたい。

#### ※学校会計について

事務部長から、保護者から集めているお金のたまかな使い方と P T A 会計の説明

#### ※その他

- ・マイナンバーを教えていただく必要が出るかもしれないので、今後ご協力願うかもしれない。
- ・学校評議員会は来年度も 2 回実施する予定。

#### 6 会議のまとめ（校長より）

来年度、1 名を除く 4 名の方については、県の規定である 3 年を超えてお願いしてきましたので、来年度は交代していただくこととしました。長い間お世話になりました。ありがとうございました。これからもいろいろなところで案内を差し上げることになると思いますが、これまで通り学校に足を運んでいただき、ご意見をいただけるとありがたいです。